

ままこだけ

2025/08/23(土)

継子岳(御嶽山頸城)

メンバー:L 辻、福田 (記録) 会員外1

初めて乗るスマートインターから、木曾へ。霧の開田高原を抜け飛騨路、分かり易くい道だった。温泉の入り口、きれいなトイレ付きのヘリポートあり。駐車場に案内人もいて余裕で止められた。

針葉樹林から登りが始まる。苔におおわれ深い山の感あり。石畳でしっかり整備され、少しずつ高度を上げる歩きやすい道だった。



▲カエル岩

ジョーズ岩▶

森林限界をぬけると、見事な這松帯へ。トラバースしつつ高度が上がるごとに這松の背の高さが変わっていくのがわかる。



▲コマクサ(出会えて良かった!)



▲トリカブト

【コースタイム】 薄曇り

- 07:05 御嶽小坂登山口～
- 08:00 小坂口七合目～
- 09:25 のぞき岩避難小屋～
- 10:00 小坂口八合目～
- 11:30 五ノ池小屋～大休憩～飛騨頂上
- 12:40 継子岳～
- 13:20 飛騨頂上～
- 14:15 小坂口合八合目～
- 15:25 小坂口七合目～
- 16:00 御嶽小坂登山口

這松が少なくなり、ガレ場になる頃から、駒草が見つかる。時期は過ぎているがそれでも残りの花を楽しむ。



▲ライチョウ岩



▲五ノ池&摩利支天(五ノ池小屋のテラスから)

五の池小屋に立つと高い山を感じる。曇り空に助けられる。池を前にテラスで昼食。終わるころ、「ここは宿泊者専用」とスタッフが来る。入り口に看板あるが誰も読まず。へりは5回飛んだと、新鮮な野菜が届いていた。



▲飛騨頂上



▲三ノ池(御神水)

継子岳への尾根歩きはガスが出たり入ったり、摩利支天への道も楽しめそう。広い山頂にゆっくりしてしまう。





▲^{ままこだけ}継子岳から望む継子岳Ⅱ



▲四ノ池&御岳山の峰々

下りは這松と背比べをしながら、石車に乗らないよう気をつける。森林限界から植生がしっかり変わり
分かりやすい山だ。石畳の道まで来て一安心。

^{ままこだけ} 継子岳、^{ままはだけ} 継母岳など、哀しい名を持つが、御嶽山の大きさを見直す山行だった。



▲オタカラコウ



▲カニコウモリ



▲リンドウ



▲ナナカマド(秋近し)



▲イワキキョウ



▲イワツメクサ



▲コケモモ(りんごの味)



▲オンタデ



▲トウヤクリンドウ

【編集後記】

濁河温泉にごりごおんせんの小坂登山口から五の池小屋経由でままこだけ糺子岳を目指しました。

田ノ原口からやロープウェイからの火山コースとは全く違った景色。緑に覆われた豊かな自然、神秘的な御神水を称える三ノ池、水路が入り組んだような湿地帯の四ノ池、それらを取り囲むようにそびえ立つ幾多の峰々。御嶽山のイメージががらりと変わりました。

小坂口コースは概ね石が敷き詰められ時々木段、スロープもそれほど急登ではないので距離は長いが、とても歩き易い登山道でした。次回は人気の五の池小屋泊りで摩利支天や池巡りなど楽しみたいと思いました。

濁河温泉の市営露天風呂もシャンプー、ソープ、ドライヤーありで、薄茶色の温泉もなかなか良かった。 辻記